

会 議 録

【事業番号3 コミュニティ・スクール推進事業費】

- 1 会議名 平成30年度第1回市民行政評価委員会
- 2 日時 平成30年10月31日(水)午後2時55分～3時25分
- 3 場所 兼六会議室
- 4 出席者
 - (1) 市民行政評価委員会委員
岡田委員長、山口委員、坂下委員、山崎(純)委員、山崎(陽)委員
佐々木委員、竹下委員、林委員、三原委員、村上委員
 - (2) 事業担当課(学校職員課)
羽場課長、柳田主査
 - (3) 事務局(行政経営課)
津田課長、松本課長補佐、二木係長、古谷主査
- 5 審議内容

評価委員：事業費の内訳を教えてください。(事前質問)

事業担当課：平成29年度事業費の内訳は、次のとおりである。

謝礼金	786千円(委員謝礼 1回2千円)
食料費	27千円(会議開催時のお茶代)
消耗品費	1,243千円
	(会議資料の紙代、インク代、ファイル購入等)
図書費	12千円(参考図書購入)
通信運搬費	30千円(会議開催通知のための切手代)
委託料	1,809千円(各学校のリーフレット作成費)
合計	3,907千円

なお、文部科学省から1,300千円の補助金を受けている。

評価委員：成果指標が実施校数のみだが、その内容の質を計るための材料は集めていないのか。(事前質問)

事業担当課：本事業においては、学校が抱える固有の課題解決に向け、保護者や地域の方々が学校運営に参画する仕組みを設けること自体が目的であることから、実施校数を成果指標としている。
学校運営協議会での具体的な協議内容は学校の課題や地域の実情等によって異なるため、統一的な成果指標を設けることは困難だが、実施校での取組状況を把握することは大切なことであると考えている。

事業番号3 コミュニティ・スクール推進事業費

このため、年度末には各学校から書類による報告を受けているほか、学校訪問の際に校長から聞き取りを行ったり、教育委員会職員が学校運営協議会を視察したりする等の取組を行っている。

また、今年2月には、すべての市立学校の校長の出席のもと、コミュニティ・スクールモデル事業報告会を開催し、モデル校のうち3校の校長が成果発表を行っている。

評価委員： 全学校で実施体制が整った後はどう展開していくのか。（事前質問）

事業担当課： 今後は、小学校での実施状況を踏まえ、地域団体等からの意見も伺った上で、中学校への拡充について検討していく予定である。本事業の目的は、学校運営に地域住民や保護者の意見を反映させていくことであり、実施体制が整った後も、継続して各学校で学校運営協議会を開催し、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

このことによって、各学校において、地域の実情や子供たちの状況にあわせた教育活動を展開していく。

評価委員： 平成29年の法改正ですべての学校の実施が努力義務化されているというのは設置者の判断でやってもやらなくてもいいということだが、それ以前の表現はどのようになっているのか。

事業担当課： これまでは学校評議委員会があり、その中には校長の求めに応じて学校運営に意見を述べるという委員はいたが、このように合議制の機関が開かれて、そしてこの学校運営協議会が開かれるようになったのは法改正が行われてからであり、それまでは特に法にも明記されていなかった。

評価委員： 学校運営協議会の制度は前からあったと思う。

事業担当課： 法改正前は「置くことができる」としていた。

評価委員： 努力義務と変わらない。設置者の判断で実施してもしなくてもよいという点では一緒で、必ず置かなければいけないというわけでもないのに、現行の学校評議員制度あるいは学校評価委員会、外部評価委員会ではだめで、学校運営協議会を実施する根本的なところが何かを知りたい。

事業担当課： 一つは、今、問題になっている教員の過重労働を少しでも和らげるために、学校評議員会、学校関係者評価、学校保健委員会の会合を学校運営協議会がある学校は一つにし、効率化を図ることや、地域のことをもっと広く意見を吸い上げることができる等の理由により、学校運営協議会を設置した。

事業番号3 コミュニティ・スクール推進事業費

- 評価委員 : 学校保健委員会はもう開かれないのか。
- 事業担当課 : そのとおりである。その内容を学校運営協議会の中で話をしている。
- 評価委員 : 学校評議員制度でも校長の諮問に応じて保護者等が意見を伺うということが出来るので、外部の人たちの意見を伺うという点は基本的には一緒である。
- ただ若干、法的には違いはあるが、それがかえって校長がこんなことをしたいと思うことを制約することにならないかという懸念もあるような気がする。その点についてどのように考えているのか。
- 事業担当課 : 校長等の聞き取りでは、非常に地域や保護者の方が好意的にとらえており、これまで教員が行っていたことを地域の方々も手伝うことができるという後押しになるような意見が大変多いと聞いている。
- 評価委員 : しかし、先ほど一番の目的は保護者や地域の方々に学校運営に参加ではなくて参画する仕組みそのものだという事であるが、今までも外部評価委員会などは外部の人たちの参画を求めて、協力を得る仕組みであったことは確かである。今回、この制度を変えて、委員は15名以内で構成しているということだが、実際問題、保護者が委員に選ばれている割合はどのくらいか。
- 事業担当課 : 20%切るくらいである。
- 評価委員 : 15人中多くて2人ということだ。地域の協力という点では今までの評議員会よりは人数は多いが、保護者そのものについては決して多くはない。半々というわけではない。今、実際に子供を預けている人たちの声というのはそれほどあまり重視されていないような気がする。そういう点ではいかがか。
- 事業担当課 : 保護者等についてはこれまで通りの学校評価等の中で意見を吸い上げながら、このような意見があったということを学校運営協議会の中で、地域の方や学識経験者の方にお話をして、学校運営についての承認をいただいていると考えている。
- 評価委員 : この事業に反対というわけではないが、将来的には中学校全体、70校なり80校というスケールで将来的に実施することになるのではないかと思う。そうすると、現在の予算規模を見積もっただけでも毎年3,000万円は必ず出ていくということだ。毎年3,000万円つぎ込んで特別な成果指標無しに、学校運営に参画する仕組みだけが整えばよいというものでは、無理なような気がする。保

事業番号3 コミュニティ・スクール推進事業費

護者や市民が求めているのは、例えば、金沢市の学校は、不登校の子が少なく住みよい学校だとか、いじめが少なく、子供は楽しく学校へ通っており親が安心だとか、あるいは子供たちがよく勉強してマナーもよい地域だということ、期待している。そういうことに何らかの形で結びつくような指標なり成果というのがこの事業をする上では、何らかの形で保護者や市民が納得出来るようなものを是非入れられたらいいと思う。単に学校の特色が深まったとか学校が活性化したといくら言われてもたぶん保護者はわからないと思う。そういう点を是非知恵を絞って、何らかの見える化をしてほしい。せっきくの取り組みだから継続していく上で私はこういうことが必要ではないかと考えている。

- 事業担当課 : ありがとうございます。まず、予算のことを少し説明させていただきますが、今後、学校が広がっていく中で委託料、学校の周知のためのリーフレットが割と多くかかってくるので、少しずつ縮減していかなければということが1点と、先ほどの取り組みの成果等で、例えば、子供たちが地域あるいは家庭で挨拶するようになったとか、家庭学習が身についたとか何らかの指標を設けて、委員がおっしゃる通り成果が現れるようにしたいと思っている。
- 評価委員 : 是非そういう素人の人が見てわかる指標を盛り込んでいただきたいというのがささやかな意見だ。
- 評価委員 : 新聞に、先生のストレスが8割を超えていると記事が掲載されていたが、今のお話だと現場の先生方の負荷も和らぐということによろしいか。
- 事業担当課 : そのとおりである。
- 評価委員 : 先ほどの続きになるが、将来的には、先生方の現場の負荷が無くなってきた、少なくなっているというのも指標にも盛り込んで測定する必要があると思う。個人的な意見だ。
- 事業担当課 : 教職員に対しては、業務を効率化して本務に向き合う時間を確保するという取組の中で、コミュニティ・スクールの設置というものを設けており、総合的にこの実施により、従来の業務内容の質的転換を図って、子供たちに向き合う時間を増やしていこうと考えている。
- 評価委員 : この学校運営協議会は、現場の先生方はノータッチということか。委員構成には、校区の中学校長と記入してあるが、いくつかの小学校を掛け持ちしているのか。また、該当校区の小学校の教員や校長は参加しないのか。

事業番号3 コミュニティ・スクール推進事業費

- 事業担当課 : 学校によって、小学校の校区を掛け持ちしている中学校長もいらっしゃる。
また、一般教員は委員にはなれないが、該当校区の小学校長はその校区の委員になっている。
- 評価委員 : 了解した。
- 評価委員 : コミュニティ・スクールで行う分野はどのようなことか。学習に重点を置くのか、それとも、コミュニティとあるので、地域の連携とともに子供たちの心の成長を支えていくということか。
- 事業担当課 : 学校運営というのは、学習面と子供たちの生活面があるが、どちらかといえば生活面の方が少し比重が高い。そのことにより、教員は学習面に傾注できるようになるとお考えいただいた方がわかりやすいかと思う。
- 評価委員 : 了解した。